



“地域のことは地域で考えよう”

2015年8月27日

## おきぎん県内景況・速報 2015年7月

— 県内景況は、拡大している —

### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

### ■企業倒産

件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

## 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

## おきぎん県内景況・速報(2015年7月分)

◎2015年7月 おきぎん「カトレア」景況図



### ◎概況：県内景況は、拡大している。

7月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は衣料品や雑貨などが好調で、前年同月上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、エアコンの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数はレンタカー需要の増加などから前年同月上回りました。

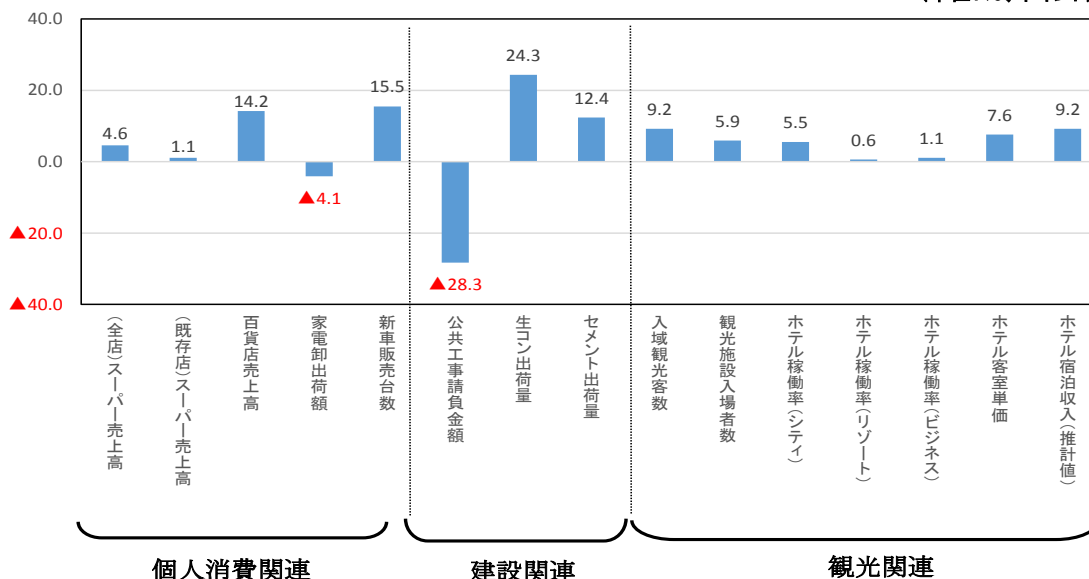
建設関連では、公共工事請負金額は、前年あった国やその他の公共的団体発注による工事の反動などで前年同月を下回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月上回りました。

観光関連では、入域観光客数は34ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は前年の消費税増税に伴う落ち込みからの反動増がみられる中、観光関連では好調な動きが続き、建設関連も概ね堅調であることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から18ヵ月連続で判断維持)

### 主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



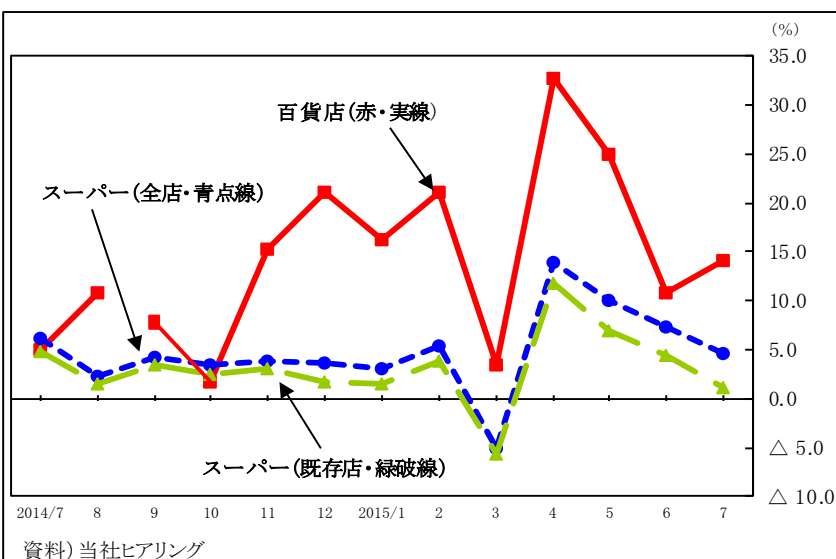


■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2014/7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	<b>8.8</b>
10	3.4	2.4	<b>1.7</b>
11	3.8	3.0	<b>15.2</b>
12	3.6	1.7	<b>21.0</b>
2015/1	3.0	1.5	<b>16.3</b>
2	5.4	3.8	<b>21.0</b>
3	△ 5.1	r △ 5.6	<b>3.5</b>
4	13.9	r 11.7	<b>32.8</b>
5	10.1	6.9	<b>25.0</b>
6	7.4	4.5	<b>10.8</b>
7	4.6	1.1	<b>14.2</b>



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上高については、2014年9月よりサンプル数の変更に伴い8月までの数値と連続しないため、使用の際にはご注意ください。

注3) スーパー売上高(既存店)については、2015年3月、4月データの誤差調整の後、修正を行なっております。本数値を参照の際には、最新のリリース情報をご覧ください。

7月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「全店ベース(前年同月比4.6%増)」が4ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規出店効果からウエイトの高い「食料品(同 3.8%増)」などが、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 1.1%増)」は店舗改装による集客効果などから、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 1.3%増)」は、旧盆の時期が前年(8/8-10)に比べ今年(8/26-28)は遅く、一部のお中元ギフト需要が後ずれしたものの、生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 2.2%増)」は訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類など)の増加などから、前年同月を上回りました。一方で、「衣料品(同 4.9%減)」は台風襲来や天候不良などの影響から、夏物衣料の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

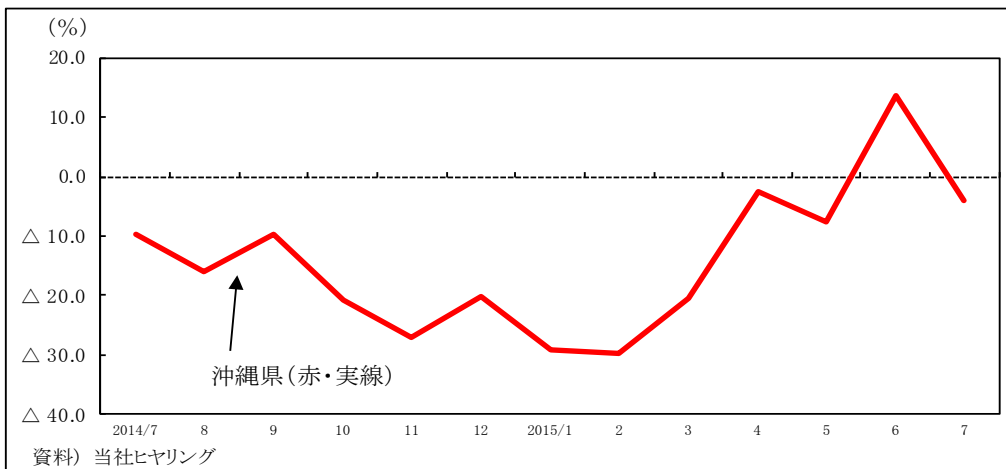
**百貨店売上高\***は、「衣料品」や「雑貨」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました(同 14.2%増)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同 13.5%増)」は、主力商品である「婦人服(同 9.0%増)」がクリアランスセールや台風の襲来後に開催した割引企画などの集客効果から売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 42.1%増)」や「身の回り品(同 20.6%増)」は、継続的な訪日観光客需要により売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。一方で、「食料品(同 3.0%減)」は、旧盆の時期が前年(8/8-10)に比べ今年(8/26-28)は遅く、一部のお中元ギフト需要が後ずれしたことなどから、前年同月を下回りました。

\*百貨店売上高については、2014年9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

## ②家電卸出荷額…エアコンの売上減少などにより、前年同月を下回る。

単位: %

	沖縄県
2014/7	△ 9.6
8	△ 16.1
9	△ 9.7
10	△ 20.8
11	△ 26.9
12	△ 20.1
2015/1	△ 29.1
2	△ 29.6
3	△ 20.6
4	△ 2.4
5	△ 7.6
6	13.5
7	△ 4.1



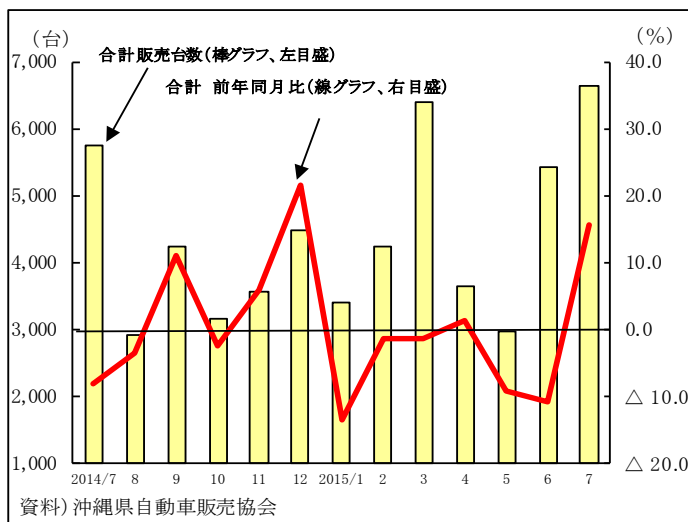
注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、エアコンの売上減少などにより、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 4.1%減、太陽光パネルの影響を除くと 2.6%減)。品目別では、「テレビ(同 47.4%増)」、「洗濯機(同 5.9%増)」、「冷蔵庫(同 12.4%増)」などは、前年にみられた消費税増税に伴う落ち込みからの反動増がみられました。一方で、「太陽光パネル(同 22.1%減)」は条件付き接続の影響が続き、「エアコン(同 31.9%減)」は、前年の長梅雨の影響で7月の需要が増加し、その反動減などから、前年同月を下回りました。

## ③新車販売台数…レンタカー需要の増加などから、前年同月を上回る。

単位: 台、%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2014/7	5,756	△ 8.2	15.3	△ 9.9	△ 11.9
8	2,914	△ 3.6	1.8	△ 4.7	△ 3.0
9	4,229	11.1	21.5	△ 3.7	8.8
10	3,152	△ 2.3	△ 6.1	△ 35.1	12.3
11	3,554	5.9	△ 29.2	△ 3.5	14.0
12	4,483	21.5	△ 17.7	△ 11.3	43.9
2015/1	3,394	△ 13.6	△ 17.0	△ 19.1	△ 13.9
2	4,248	△ 1.4	△ 25.8	24.6	△ 8.5
3	6,390	△ 1.4	△ 8.0	△ 21.6	10.6
4	3,637	1.3	27.6	28.7	△ 20.3
5	2,985	△ 9.1	△ 3.9	5.3	△ 21.8
6	5,426	△ 10.7	11.5	△ 17.6	△ 15.7
7	6,648	15.5	6.7	37.1	△ 5.8



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 6,648 台(同 15.5%増)となり、レンタカー需要の増加などから 3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「軽乗用車(同 5.8%減)」は軽自動車税増税の影響などから4ヵ月連続で下回ったものの、「普通乗用車(同 6.7%増)」が 2ヵ月連続、「小型乗用車(同 37.1%増)」はレンタカー需要の増加などから 2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

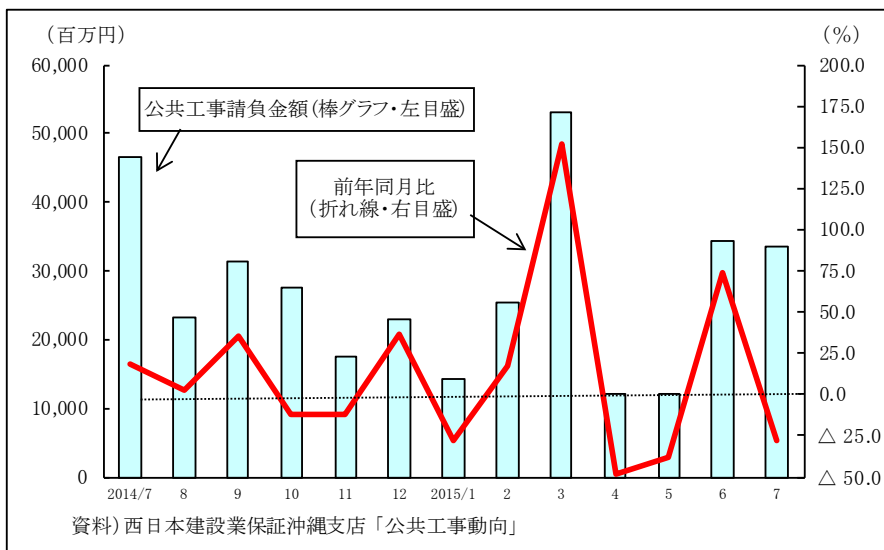


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2014/7	46,674	18.5
8	23,163	2.4
9	31,485	35.8
10	27,642	△11.8
11	17,512	△11.9
12	22,968	36.8
2015/1	14,359	△28.4
2	25,384	17.1
3	53,096	151.7
4	11,991	△47.8
5	12,215	△37.9
6	34,358	74.0
7	33,472	△28.3

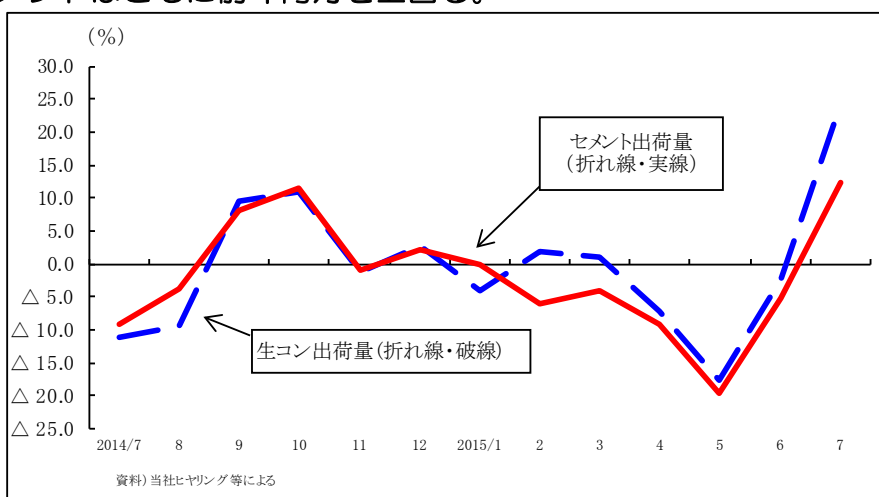


7月の公共工事請負金額は、前年同月比28.3%減の334億7,200万円となりました(2ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「独立行政法人等(同578.4%増)」は水準が低かった前年より増加し前年同月を上回った一方で、「国(同55.6%減)」は前年あったシュワブ関連工事や那覇空港滑走路増設関連工事などの反動、「その他の公共的な団体(同78.6%減)」は前年あった中部での消防救急デジタル無線システム整備工事などの反動で前年同月を下回りました。また、「沖縄県(同0.4%減)」や「市町村(同2.1%減)」は前年同月を下回りましたが大型工事が積み重なった前年と同様の水準で推移しました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2014/7	r△11.2	△9.3
8	r△9.4	△3.9
9	r9.6	8.2
10	10.8	11.4
11	△1.3	△1.0
12	2.7	2.2
2015/1	△4.2	△0.04
2	1.7	△6.0
3	0.9	△3.9
4	△7.2	△9.3
5	△17.6	△19.6
6	△2.3	△5.3
7	24.3	12.4

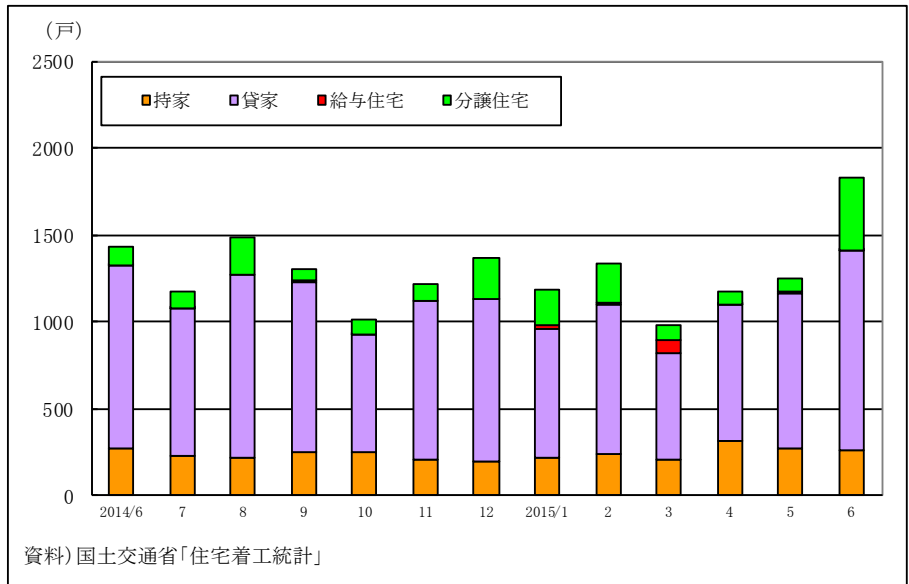


(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確認にて修正される場合がある  
(注2) 生コンデータは、9月より調査対象先を増やした為、遡及し修正している

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は24.3%増加、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より83.9%と大幅に上回り、民間工事向け出荷は4.3%下回りました。**セメント**出荷量も12.4%増と7ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(6月)…着工戸数は前年同月を上回る。

単位:戸、%		
	着工戸数	前年同月比
2014/6	1,432	34.1
7	1,172	△34.0
8	1,482	△5.3
9	1,301	△35.4
10	1,018	△35.6
11	1,216	△35.8
12	1,368	△4.8
2015/1	1,181	10.9
2	1,338	3.1
3	980	△36.4
4	1,172	△17.3
5	1,254	12.4
6	1,828	27.7



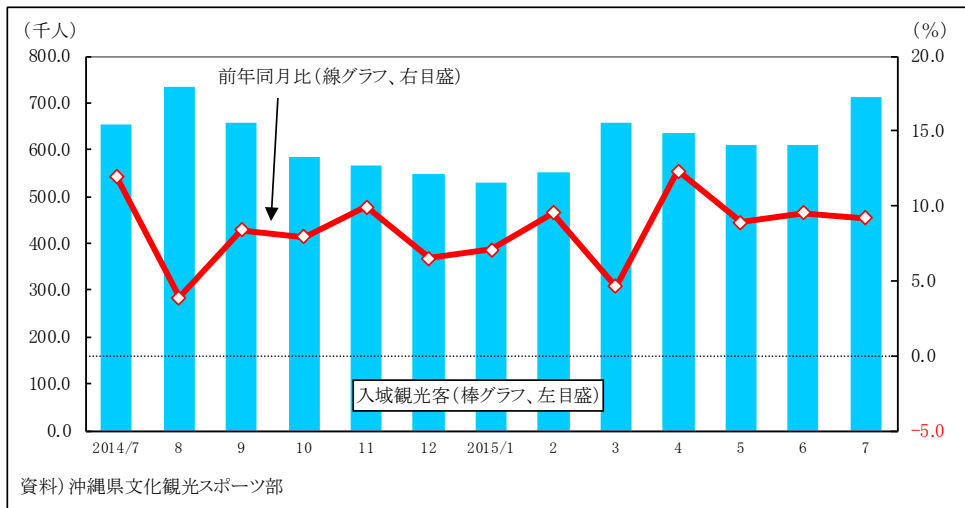
新設住宅着工戸数(6月)は、全体で前年同月比27.7%増の1,828戸と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同8.9%増)」に加えて、「分譲住宅(同301.9%増)」なども前年同月を上回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…34ヵ月連続で前年同月を上回る。

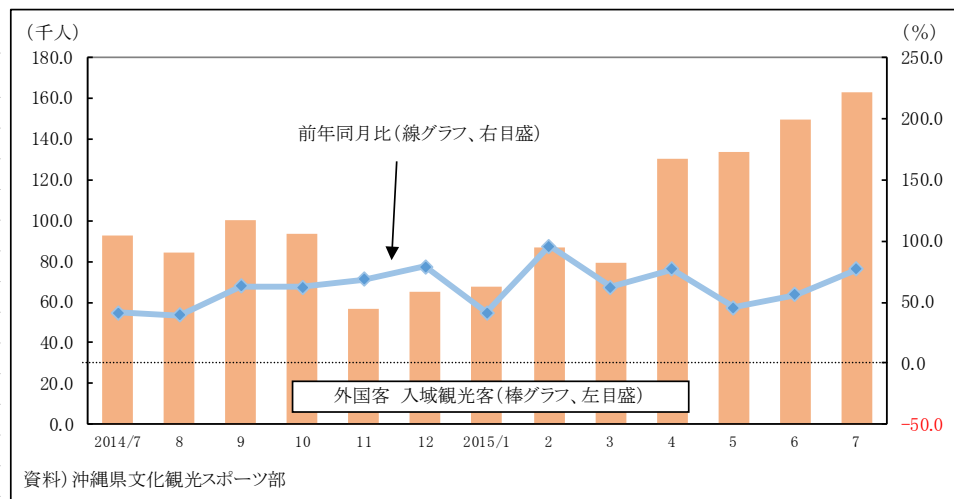
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/7	653.9	12.0
8	733.3	3.9
9	658.7	8.4
10	586.0	7.9
11	564.5	9.9
12	549.2	6.5
2015/1	530.1	7.1
2	550.9	9.5
3	659.0	4.6
4	635.4	12.3
5	611.4	8.9
6	610.0	9.5
7	714.0	9.2



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…24ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2014/7	92.3	41.6
8	84.2	39.4
9	99.9	63.2
10	93.8	62.3
11	56.4	68.4
12	64.7	78.7
2015/1	67.9	41.2
2	86.7	95.7
3	79.0	62.2
4	130.6	76.7
5	133.7	45.8
6	149.2	56.2
7	163.0	76.6



※外国客は乗務員等を含む

7月の入域観光客数は、60,100人多い714,000人(前年同月比9.2%増)となり、34ヵ月連続で前年同月を上回りました(7月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同1.9%減)」は551,000人と、台風襲来(9号、11号、12号)の影響や9月のシルバーウィーク等への旅行時期の分散化により、旅行商品の販売等が一部伸び悩んだことなどから、2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

他方、「外国客(同76.6%増)」は、163,000人と24ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

「台湾(同32.1%増)」「韓国(同108.8%増)」「中国本土(同167.8%増)」「香港(同79.7%増)」

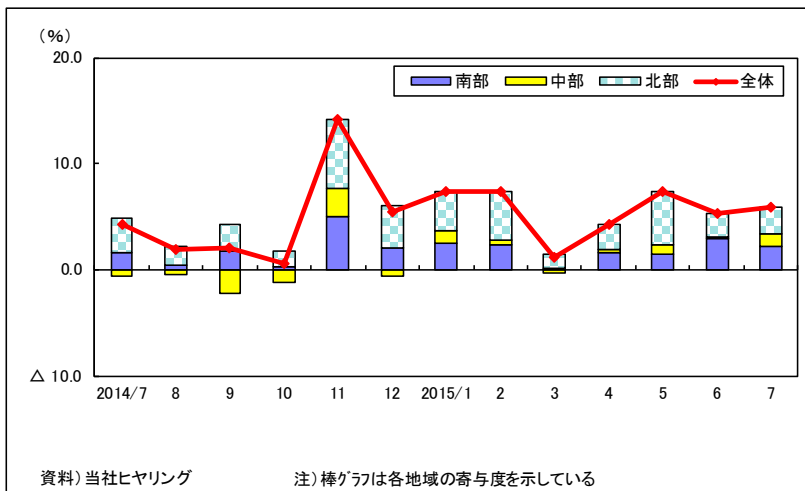
※乗務員等を除く2015年7月実績＝全体694,600人(同8.0%増)、外国客143,600人(同76.4%増)、国内客は変わらない。



## ②観光施設入場者数…17ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2014/7	4.3	4.9	△ 4.6	6.0
8	1.8	1.3	△ 3.0	3.4
9	2.0	5.1	△ 16.6	4.8
10	0.6	0.7	△ 8.5	3.1
11	14.2	11.7	20.0	14.9
12	5.4	4.8	△ 4.0	9.0
2015/1	7.3	6.5	8.7	7.6
2	7.4	6.2	3.1	9.5
3	1.1	0.2	△ 2.2	2.9
4	4.3	4.2	2.1	5.1
5	7.3	3.4	7.0	10.9
6	r 5.3	7.4	1.8	4.3
7	5.9	6.3	10.1	4.8



\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

**観光施設入場者数**は、全体で前年同月より5.9%増加(17ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同6.3%増と21ヵ月連続、中部は同10.1%増と4ヵ月連続、北部は同4.8%増と17ヵ月連続で前年同月を上回りました。

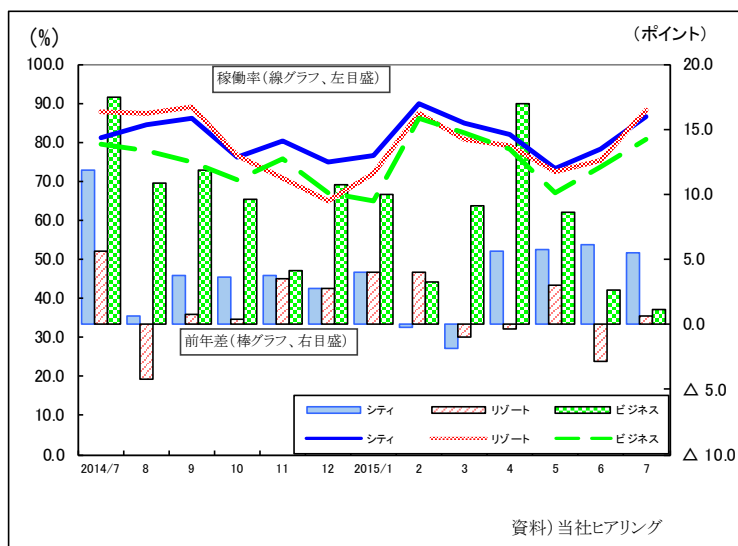
## ③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2014/7	81.2	r 87.7	r 79.5	11.8	r 5.6	r 17.5
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△ 4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.3	76.6	70.2	3.6	0.4	9.6
11	80.4	70.6	75.7	3.8	3.5	4.1
12	75.1	64.8	67.1	2.7	2.8	10.7
2015/1	76.4	72.0	65.1	4.0	4.0	10.0
2	89.7	87.4	86.1	△ 0.2	4.0	3.2
3	84.9	80.6	82.4	△ 1.9	△ 1.0	9.1
4	82.1	79.1	78.1	r 5.6	△ 0.4	16.9
5	73.1	72.4	67.1	5.7	3.0	8.6
6	78.2	75.3	73.6	6.1	△ 2.9	2.6
7	86.7	88.3	80.6	5.5	0.6	1.1

注) シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

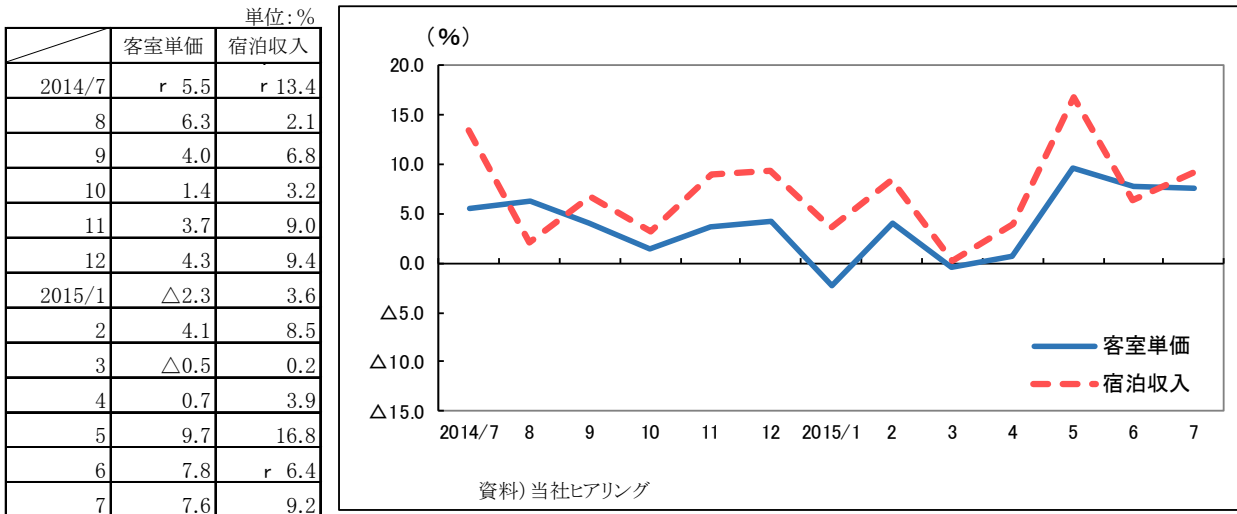
\*公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



**県内ホテル稼働率**は、シティホテルが86.7%と5.5ポイント上昇(4ヵ月連続)、リゾートホテルが88.3%と0.6ポイント上昇(2ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが80.6%と1.1ポイント上昇(21ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比7.6%増と前年同月を上回り、**宿泊収入**も同9.2%増と前年同月を上回りました。

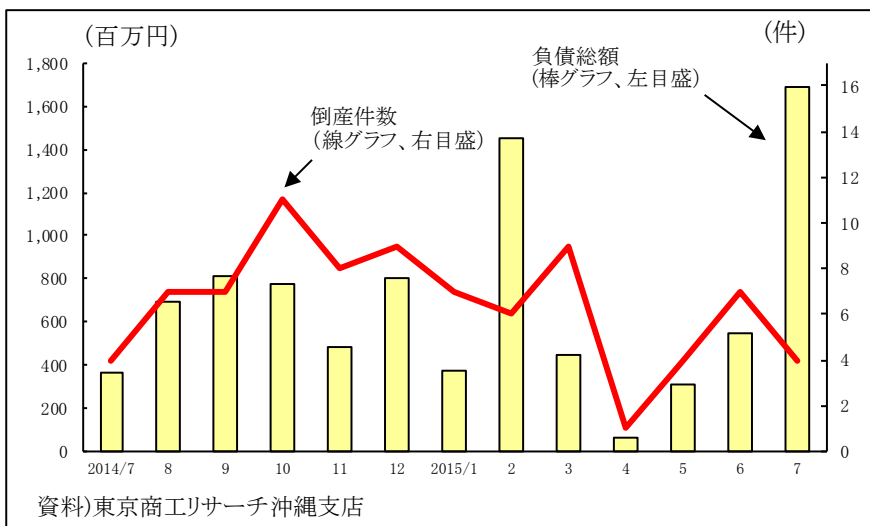


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2014/7	361	4
8	697	7
9	808	7
10	774	11
11	487	8
12	806	9
2015/1	375	7
2	1,453	6
3	451	9
4	62	1
5	313	4
6	546	7
7	1,685	4



7月の**企業倒産件数**は、4件(うち、10億円以上の大型倒産は1件)発生し前年同月と同数、負債総額は16億8,500万円と366.8%増加しました。

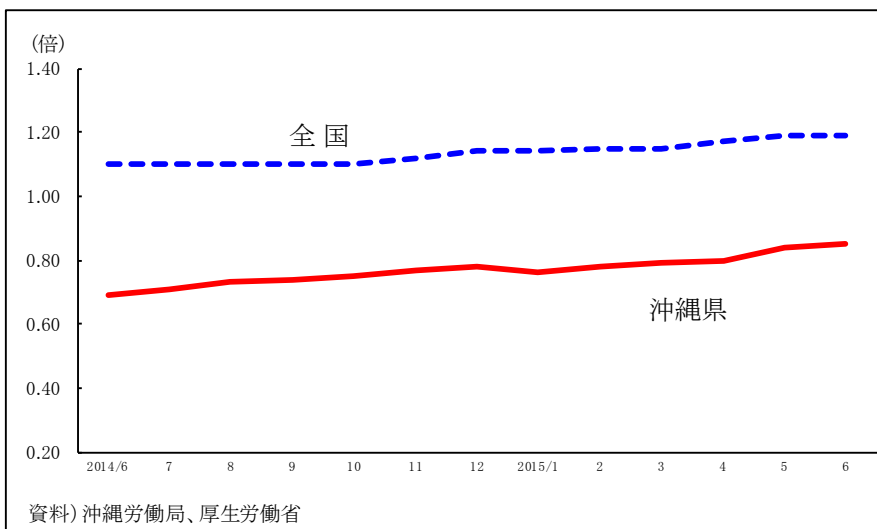


【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(6月)…沖縄は前月より上昇、全国は同数。

単位: 倍

	沖縄県	全国
2014/6	0.69	1.10
7	0.71	1.10
8	0.73	1.10
9	0.74	1.10
10	0.75	1.10
11	0.77	1.12
12	0.78	1.14
2015/1	0.76	1.14
2	0.78	1.15
3	0.79	1.15
4	0.80	1.17
5	0.84	1.19
6	0.85	1.19



注) 季節調整済

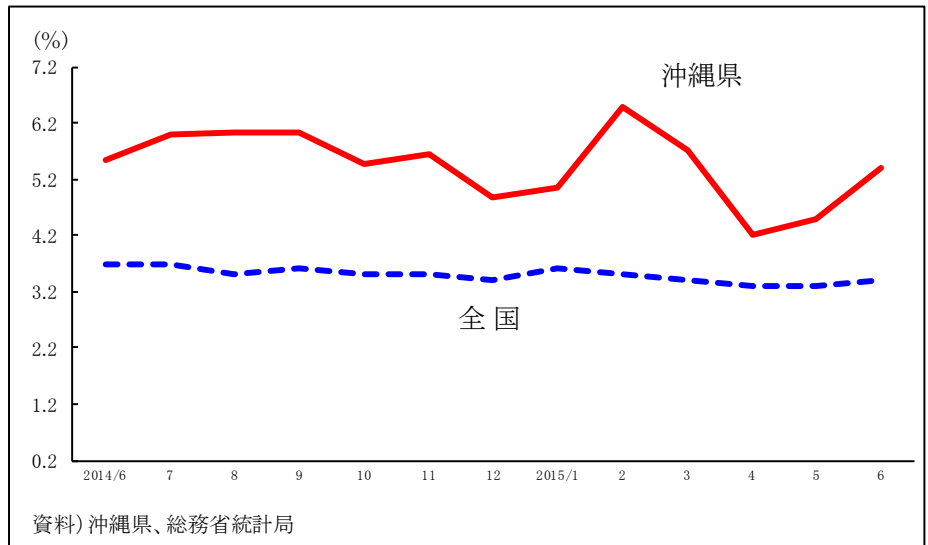
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

6月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.4%増の23,784人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.2%減の27,971人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.85倍(本土復帰以降最高値)となり前月より0.01ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(6月)…前月より上昇。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2014/6	5.6	3.7
7	6.0	3.7
8	6.0	3.5
9	6.0	3.6
10	5.5	3.5
11	5.6	3.5
12	4.9	3.4
2015/1	5.0	3.6
2	6.5	3.5
3	5.7	3.4
4	4.2	3.3
5	4.5	3.3
6	5.4	3.4

注) 季節調整済



6月の完全失業率(季節調整値)は、5.4%となり前月より0.9ポイント上昇しました。